



新学期スタートからはや1ヶ月がたちました。生活態度や授業への取組の様子から、「最髙学年として頑張りたい」という意欲が感じられ、学年全体としてよゐスタートが切れたように思います。これから、さまざまな活動を通してさらなる成長を見せてくれることがとても楽しみです。

## \*\*\* 生徒会スロークン決定! \*\*\*

さて、今年度の生徒会スロークンは、「上昇～さらなる高みへ」に決定しました。このスロークンは、これからの学校生活はもちろん、さまざまな学校行事の根幹になるものです。スロークンを決定するにあたり、生徒会執行部のメンバー・委員長たちは時間をかけて話し合いを重ねました。これからの麻里布中を創り上げていきたいか、それをめざすためにふさわしいスロークンは何か・・・。ようやくたどりついた、たくさんの思いが込められたものです。



まずは3年生がそれぞれの立場で自分ができることを考え、しっかりと行動に移してほしいと思います。そして、全校生徒の力でスロークンを具現化していくことを期待しています。

## \*\*\* 学年スロークン「Sunshine」に込められた意味とは... \*\*\*

今年度の学年スロークンは、「Sunshine」に決定しました。なぜ「Sunshine」なのか。次のような思いからこのスロークンを掲げました。

- ①太陽のように、一人ひとりが輝く一年にしてほしい。
- ②太陽は、それ自身が輝くだけではない。周囲を明るく照らし、温かく包み込むもの。= 後輩たちを温かく見守り、導く存在であってほしい。
- ③生徒会スロークン「上昇」= まさに太陽は「昇る」! この1年間で、個人としても集団としても「上昇=大きく成長」してほしい。

生徒会スロークン同様、この目標を常に意識し、日々精一杯取り組んでほしいと思います。

各教室に大きく掲示されています!



修学旅行もこのスロークンのもと、頑張ります!

## いよいよ修学旅行へ!

いよいよ修学旅行が目前に迫ってきました。生徒たちは、京都班別自主研修を中心に計画を進めてきました。また、各クラス2名計8名の修学旅行実行委員は、バスや新幹線の車内、ホテルでの過ごし方や、研修中のマナー・ルールについて話し合いました。生徒たち自身が考えた約束事を全員がきちんと守り、思い出に残る、最髙の修学旅行になることを願っています。



## 「どんな修学旅行にしたいですか?」～修学旅行に向けてのアフタートピ～

みんなが「楽しかった」と言っ、一生の思い出になるような旅行にしたいです。だけれども嫌な思いをしないような行動、言葉で、みんな楽しんでみたい。1つ1つの言葉に気がつけたり、いろいろな人と会話をちゃんとしたり、班の雰囲気がよくなるようにもしていきたいと思ひます。

私はみんなが楽しめて、最髙の思い出になるような修学旅行にしたいです。そのために、人が嫌だと思っことをせず、ルールやマナーを守って思いやりの心を忘れずに行動したいと思ひます。また、メンバーに厳しくしすぎず、優しくしたいです。

「あーこの3年間で一番楽しかった!」と思えるような修学旅行にしたいです。自分か班で台無しにするような行いは絶対にしないようにしたいです。みんなが「楽しすぎる!」と思えるように、自分も頑張りたいです。そして、先生たちも「楽しかったな」と思えるような日になればと願っています。

一生に一度だから、3年生全員(先生方を含めて)楽しかった! 最髙だった! と笑って終われるものにしてほしいです。そのために、ルールやマナーは守り、友達と思い出をつくりながら楽しみたいです。



全員が一生の思い出に残るような修学旅行にしたいです。そのために、一人ひとりが仲間と協力して、楽しむときと集団で行動するときのメリハリをつけることを大切にしたいと思ひます。準備のときから協力して、当日も嫌な思いをする人が一人もいないようにするべきだと思ひます。現地でもマナーを守り、麻中生として正しい態度で修学旅行に行きたいです。

みんなが楽しい修学旅行をつくり、思い出に残る修学旅行にしたい。今まであまり話したことのない人と仲良くなれるような修学旅行にしたい。修学旅行も楽しめて、京都などの歴史の部分も、楽しく考えを深められたらいいなと思っ。

「みんなが楽しいと思える修学旅行にしたい」と、たくさんの生徒が書いていました。その思いが実現する修学旅行になるよう、3年部教員一同、精一杯サポートに努めたいと思ひます。